

長岡市・三島郡「生活科」活動報告

長岡市立上川西小学校 杉山 淳一

1 研修テーマ

「子どもの学びを育む生活科の単元構成や支援のあり方はどうあればよいか」

2 研修の概要

(1) 総会

○ 4月22日 会場 上川西小学校

- ・ 研修テーマを決定すると共に、昨年度に文教大学・嶋野道弘教授よりご講演いただいた内容についてまとめた資料を配付し、本年度実践に生かせるようにした。

(2) 授業研修会・情報交換会

○ 11月17日 会場 六日市小学校

○ 公開授業 1・2年生 『わたしの町 大すき』～町のはっぴょう会～

- ・ 新設された内容(8)の「生活や出来事の交流」を受け、1・2年生合同で、探検で見つけた地域の魅力をまとめて、開いた発表会を公開いただいた。

様々な活動場面での異学年の交流や、発表活動を通して、伝え合い、かかわり合うことの楽しさがわかり、進んで交流する子どもの姿を目指した単元構成の工夫が提案された。

公開授業を中心に、表現の工夫や友達が見つけた町のよさに気付くための、メッセージカードやワークシートの活用について協議を深めた。

○ 情報交換会

- ・ 各地域・学校周辺の環境や季節的な特徴、学校行事との関連等を生かして、年間指導計画を自校化し、活動の充実を図っている。
- ・ 地域の人材や活動に協力してくださる商店・施設等について、リストにして次年度以降も活用が図れるようにしている。
- ・ 動物飼育に関しては、何を飼うか、何が飼えるか、飼育期間をどうするか等、学校の実情や子どもの実態に合わせて選択していくが、レンタルができる動物や機関等の情報を把握しておくことで選択肢が増える。
- ・ 記録や観察にカードを活用するが、気付きの質を高めるためのカードのあり方についてより一層研修し、工夫していく必要がある。 等

各校における日常実践に基づく成果や課題を、グループごとに情報交換した。

3 研究発表校

(1) 長岡市立千手小学校 (中越社会科研究会 長岡大会) 11月22日

(2) 研究主題

『子どもが考えを練り上げる姿の具現化 ～子どもの見取り・発問・板書～』

(3) 研究内容

子どもの考えを可視化し、子どもが考えを練り上げる姿を具現するために

①子どもの見取り ②発問 ③板書 はどうあるべきか。

(4) 公開授業 2年「あそびランドへようこそ」

- 各種のカードやワークシートにより、子どもの意識や思考を的確に把握する。
- 活動する中で、子どもが相談をしたり協力したりしながら考えを練り上げていけるような発問や投げかけをする。
- それぞれの遊びの良さや工夫が見え、誰にでもわかりやすい板書にするため、項目ごとに色分けしたり、画用紙や付箋を活用して、自由に動かせるようにしたりする。
- 学習活動の見通しをもたせることで、活動の視点を焦点化する。 等